

# はじめに

石川県では、昭和47年から愛鳥週間の期間中に、石川県健民運動推進本部（本部長：石川県知事）が主体となって、「ふるさとのツバメ総調査」を実施しています。この調査は、全県一斉に行う恒例行事で、毎年、県内の全ての公立小学校の6年生が中心となって調査をしています。昭和47年度から平成21年度の調査参加人数は累計60万人を超えることとなりました。

この調査は小学生が地域を巡回し、各校区のツバメの成鳥数、巣の数、巣を見つけた場所などを調べるとともに、地域の人々のツバメに対する思いも聞き取っています。

小学生の親の世代もこの調査を経験しているため、ツバメ調査は親子共通の話題となり、また、石川県民一人ひとりが野鳥に親しむきっかけとなっています。子どもたちはツバメ調査をとおして地域への関心を深め、生き物と環境とのつながりを意識できるようになっています。

当本部では調査終了後、毎年調査報告書を作成するとともに、各小学校の調査状況やツバメの成鳥数等のデータを更新し、ホームページで全国に発信しています。また、「ツバメ学習会」や「ふるさとのツバメ総調査作品コンクール」等の関連事業も実施しています。

このたび、ホームページで発信している情報を基に、ツバメの数などの変化や巣の場所等を、小学校毎にまとめた「小学生によるふるさとのツバメ総調査データ集」を発行いたしました。

各学校のツバメの生息状況などをご覧いただき、今後の調査の参考、または地域を知る情報のひとつとして活用していただければ幸いです。

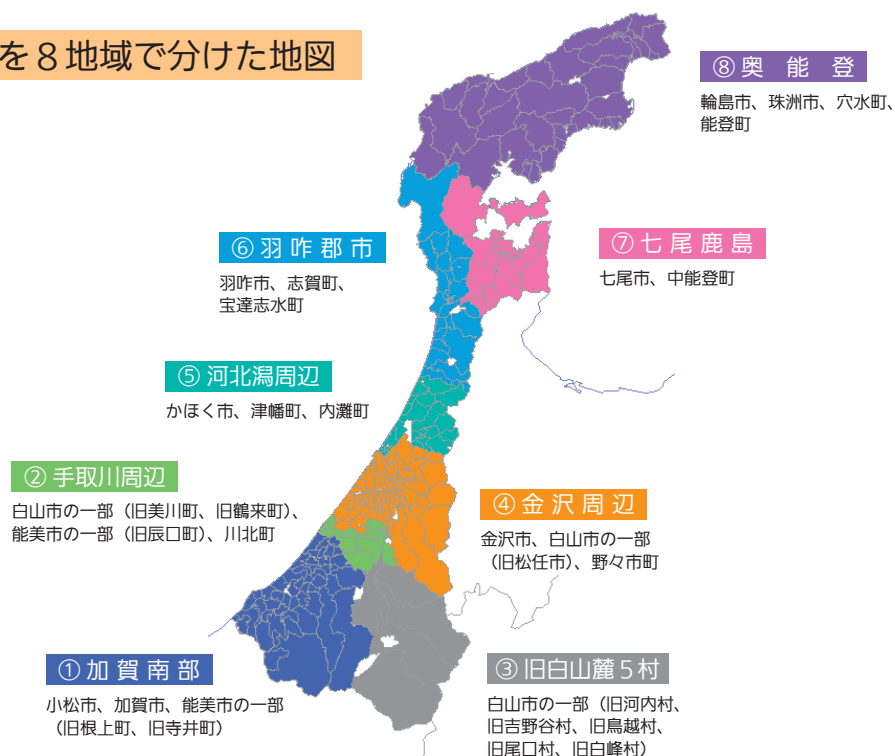
平成22年4月

石川県健民運動推進本部  
ツバメ調査検討委員会

# 目次

はじめに	
索引	1
調査概要	2
調査票	3
石川県全体の推移	5
小学校データ一覧	
① 加賀南部	51校
② 手取川周辺	12校
③ 旧白山麓5村	4校
④ 金沢周辺	73校
⑤ 河北潟周辺	20校
⑥ 羽咋郡市	19校
⑦ 七尾鹿島	18校
⑧ 奥能登	28校
その他	
1. ふるさとのツバメ総調査事業	
ツバメ学習会	231
ふるさとのツバメ総調査作品コンクール	232
ツバメのお宿シール原画コンクール	233
表彰式、パネル展	234
ツバメ観察ダイアリー	235
2. 参考データ	
経年変化	236
⑧地域別推移	237
成鳥確認数の推移	
使用中の巣の数の推移	
古巣の数の推移	
ツバメ調査検討委員会	238

## 石川県を8地域で分けた地図



# 小学校索引

## ① 加賀南部

小松市	
芦城	6
稚松	7
安宅	8
犬丸	9
荒屋	10
第1	11
苗代	12
蓮代寺	13
向折	14
今江	15
串	16
日末	17
符津	18
粟津	19
木場	20
矢田野	21
月津	22
那谷	23
国府	24
中海	25
金野	26
西尾	27
波佐谷	28
東陵	29
能美	30
加賀市	
錦城	31
錦東	32
緑丘	33
三木	34
三谷	35
南郷	36
橋立	37
黒崎	38
片山	39
金明	40
湖北	41
動橋	42
分校	43
作見	44
山代	45
庄	46
東谷口	47
勅使	48
山河	49
菅南	50
菅谷	51
能美市	
能美	52
福岡	53
寺井	54
粟生	55
湯野	56

## ② 手取川周辺

白山市	
美川	57
蝶屋	58
湊	59
朝日	60
明光	61
広陽	62
能美市	
辰口中央	63

宮竹	64
和気	65
川北町	
川北	66
橘	67
中島	68

## ③ 旧白山麓5村

白山市	
河内	69
白嶺	70
鳥越	71
白峰	72

## ④ 金沢周辺

金沢市	
野町	73
弥生	74
中村町	75
十一屋	76
泉野	77
新野	78
菊川町	79
小立野	80
材木町	81
味噌蔵町	82
中央	83
長田町	84
明成	85
諸江町	86
馬場	87
森山町	88
浅野	89
小坂	90
千坂	91
夕日寺	92
大浦	93
浅野川	94
鞍月	95
粟崎	96
野町	97
大金	98
石徳	99
大戸	100
板緑	101
押野	102
米丸	103
三馬	104
富樫	105
額	106
内川	107
犀川	108
湯涌	109
東浅川	110
田上	111
俵	112
医王山	113
森本	114
花園	115
朝日	116
不動寺	117
三谷	118
南小立野	119
伏見台	120
扇台	121
木曳野	122

三和	123
長坂台	124
新神田	125
西南	126
米泉	127
四十万	128
西	129
安原	130
杜の里	131
白山市	
松任	132
東明	133
北陽	134
旭丘	135
蕪城	136
千代野	137
石川	138
松陽	139
松南	140
野々市町	
野々市	141
御園	142
菅原	143
富陽	144
館野	145

## ⑤ 河北潟周辺

かほく市	
高松	146
大海	147
七塚	148
外日角	149
宇ノ気	150
金津	151
津幡町	
津幡	152
太白台	153
中条	154
条南	155
井上	156
笠野	157
英田	158
刈安	159
萩野台	160
内灘町	
西荒屋	161
大根布	162
向粟崎	163
鶴ヶ丘	164
清湖	165

## ⑥ 羽咋郡市

羽咋市	
羽咋	166
粟ノ保	167
西北	168
西知	169
余喜	170
瑞穂	171
志賀町	
高浜	172
志加浦	173
堀松	174
加茂	175
土田	176
上熊野	177

下甘田	178
富来	179
宝達志水町	
志雄	180
樋川	181
押水第一	182
宝達	183
相見	184

## ⑦ 七尾鹿島

七尾市	
小丸山	185
山王	186
天神山	187
徳田	188
東湊	189
石崎	190
和倉	191
有磯	192
北星	193
高中階	194
中能島	195
能登	196
田鶴浜	197
中能登町	
鳥屋	198
御祖	199
滝尾	200
越路	201
鹿西	202

## ⑧ 奥能登

輪島市	
河井	203
鳳至	204
鶴巢	205
大屋	206
河原田	207
三井	208
南志見	209
西保	210
町野	211
門前東	212
門前西	213
珠洲市	
宝立	214
上戸	215
飯田	216
直	217
若山	218
正院	219
蛸島	220
みさき	221
西郡	222
穴水町	
穴水	223
向洋	224
能登町	
宇出津	225
真脇	226
柳川	227
小田	228
小松	229
波	230

# 調査概要

## 1 調査の目的

ふるさとの環境を見つめ、自然を愛護する心を育み、生き物に関心を持つてもらう機会となることをねらいとして実施

## 2 調査地域

県内各小学校区のツバメの生息地

## 3 調査実施日（期間）

5月10日から16日までの愛鳥週間の間の1日

## 4 調査内容

ツバメ調査票（3・4ページ参照）に基づいて、ツバメについては、成鳥の数、巣の数とその設置場所、古巣の数

コシアカツバメとイワツバメについては、成鳥の数、使用中の巣と古巣の数

## 5 調査方法

各小学校の調査地域ごとに割り当てられた調査員が、おおむね同時刻に調査

## 6 調査員

県下公立小学校の6年生等



## ツバメ 調査票

平成 年

小学校

調査した人の名前			
調査日	5月 日	時 分から	時 分
調査地	町名、町会名など (必ず書いて下さい)		

### A ツバメ (コシアカツバメ、イワツバメは含みません。)

(1) 成鳥の数 (飛んでいるものは数えません。)

	羽
--	---



(2) 現在使用中の巣を場所ごとに記入して下さい。(古巣は混ぜません)

<b>合計</b> (あ)+(い)+(う) 個	<b>(あ) 住 宅</b> *人がいつも住んでいる建物です。アパートやマンションも含む		<b>(い) 住宅以外の建物</b> *学校、工場、車庫、納屋、公園のトイレなど人がいつも住んでいない建物のことです。		<b>(う) そ の 他</b>
	家の中	のき下	建物の中	建物の外	1. 橋の下
	個	個	個	個	2. 雨よけのある電柱又は街灯
					3. (う)の1.2.以外 (みつけたところも書いてね)

ガソリンスタンド、タクシー会社をチェックしよう

(3) 古巣(現在使われていない巣)の数を記入して下さい。

	個
--	---

ヒント：古巣は使用中の巣に比べて、かわいて白っぽい色をしています。巣の下の地面にフンが落ちていません。

↓  
 (「(う)その他」に記入した時は、本部から問合せするかもしれません。)

### B コシアカツバメ、イワツバメ

	コシアカツバメ  赤茶色	イワツバメ  白色 尾が短い
成鳥の数	羽	羽
現在使用中の巣	個	個
古巣	個	個

\*上記の説明は「ツバメ観察ダイアリー」を見てね。

### C 【調査をした後に答えて下さい。】

問1 調査員であるあなたはツバメを歓迎しますか。(好きですか、自宅に巣を作ることをうけいれますか。)

はい		いいえ	
	人		人

問2 地域の方は、ツバメをどう思っていましたか。(調査中、話を聞いた人の人数を書いて下さい。)

歓迎していた		歓迎しなかった	
	人		人

地域の方の感想は？

### D ☆見つけた巣を下記に書いて下さい。(先輩たちが見つけた巣の場所がパソコンに登録してあるかも！先生に聞いてみよう)

巣のある場所(できるだけ詳しく)	種類	まわりのようす	その時のようす
例) ○○町の石川太郎さんの納屋の中	ツバメ	田畑・住宅地	巣づくりをしている

- ◎ 巣のある場所は、調査した後パソコンで登録できるよ。できるだけわかりやすく記録してね。
- ◎ イワツバメやコシアカツバメがいたところがあったら教えて下さい。本部から見に行くかもしれません。



どんなことでもいいので、ツバメについて気がついたことがあったら、電話、FAX、メールで知らせてね。まってるよ。Kenmins1@pref.ishikawa.lg.jp

石川県健民運動推進本部 電話 076-225-1365 FAX 076-225-1363 ツバメ係

感想文、観察日記、ツバメのお宿地図、来年度のシールの原画を募集しています。（応募方法など、くわしくは先生に聞いてね！）

### 調査に参加して考えてみてね。

この調査は昭和47年から5月の愛鳥週間に皆さんの先輩がコツコツと調べ続けて38年も続いています。みなさんの学校の調査結果はすべてコンピューターに登録してありますので、いつでも見ることができます。

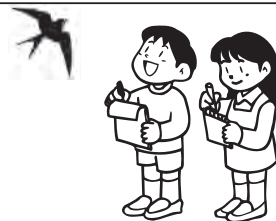
せっかく調査しても、ツバメを見つけることができないこともあるかと思います。「ツバメが見つからなかった。」と思うだけでなく、昔はツバメがいたのに、今はツバメがないのはなぜなのかを考える機会にしてほしいと思います。

考えたシールの原画を描いてみましょう！



### ツバメ調査を実施して思ったこと

- 地域の自然環境
- ツバメの親子を見て感じたこと
- 地域の人達のツバメを守る工夫
- お父さん、お母さんが調査した時の様子など



（平成21年度「感想文」より）

- ・ツバメは自然の豊かな所に来てくれると聞いたので、たくさんのツバメが巣を作っていれば、そこはツバメにとって暮らしやすい、いい環境だと思いました。調査の時にツバメを歓迎しない人がいたけれど、歓迎はしなくても、生き物を大切にしてほしいと思います。生き物に対して心を開いてほしいからです。
- ・ツバメの巣があるお家を見つけました。2、3日前にツバメが来たそうです。巣が落ちないように板をつけてありました。それを見てツバメのことも考えてあげている、優しい気持ちが伝わってきました。一番の驚きは、ツバメが田んぼからドロを持ってきて巣を作っているところを見ることができたことです。  
（一部抜粋）



石川ツバメマップ

検索